

富士山富士宮口五合目来訪者施設(仮称)整備事業  
技術提案書等に関する質疑・回答書

令和 7 年 11 月 21 日

| 番号 | 資料名                                | ページ | 質 疑   | 回 答   |
|----|------------------------------------|-----|---|---|
| 1  | 資料 1－1<br>募集要項                     | 19  | 電子データはウィルスチェックを行うことと記載があるが、方法またはソフトについて指定はあるかご教示ください。   | 方法やソフトの指定はありません。  |
| 2  | 資料 1－1<br>募集要項                     | 22  | (5) 技術提案書の提出<br>エ 提出部数 (エ) 提案価格見積書・内訳書【様式第 10 号-1～4】1 部と記載がありますが、オ 体裁及び書式 (カ) では 2 部提出することと記載されています。<br>どちらを正とすればよろしいでしょうか。 | 1 部としてください。   |
| 3  | 様式 8 号-1<br>～3 号<br>実績調書<br>【添付書類】 | 19  | 添付書類の紙様式のサイズ (A3、A4 等) はどのような規格でしょうか。A3 の場合は横使い (A4 折り) でよろしいでしょうか。   | 原則 A4 サイズとしますが、A4 では判読できない場合は A3 でお願いします。<br>A3 の場合は横使い (A4 折り) でよろしいです。  |
| 4  | 資料 3<br>評価基準                       | 5   | 実績評価①、②について、全ての評価項目を 1 企業や 1 技術者で満たしている場合のみ、点数がつくのか、もしくは項目ごとに按分した点数がつくのかご教示ください。  | 別表 1 「評価の視点」(1)(2)の項目毎に 0.5 点となります。<br>例えば評価項目①について、企業として設計のみを請け負った実績がある場合は、「評価の視点」(1)の設計に該当するため 0.5 点、企業として設計及び施工を請け負った実績がある場合は「評価の視点」(1)の設計と施工に該当するため 1 点となります。 |
| 5  | 資料 3<br>評価基準                       | 5   | 実績評価④について、全ての評価項目を満たしている場合のみ、点数がつくのか、もしくは項目ごとに按分した点数がつくのかご教示ください。   | 別表 1 「評価項目」の括弧内に示す設計業務委託又は建築一式工事のいずれかの経験がある者が統括責任者の場合に加点されます。<br>例えば、5 年前に国が発注した延べ面積 2,000 m <sup>2</sup> の建築物に係る設計業務委託で、設計管理技術者の実績がある者が本件の統括責任者に就く場合は、2 点となります。  |
| 6  | 資料 4<br>要求水準書                      | 3   | 積算の作成に指定ソフトがありますでしょうか。  | 資料 5 建築設計業務委託特記仕様書 P.8 のとおり工事費内訳書は、営繕積算システム RIBC2 により作成してください。<br>これ以外是一般に普及しているソフトにより作成して下さい。  |

|    |               |   |  |   |
|----|---------------|---|--|---|
| 7  | 資料 4<br>要求水準書 | 3 | 設計時の業務内容として、「県有建築物 ZEB 化設計指針への対応業務」の記載があるが、今回の建築物は特殊な立地・用途・規模の建築物で個別に省エネルギー化に係る数値目標を検討する場合として、「新築する県有建築物は、原則として ZEB Ready 以上を達成する」の適用外と考えてよろしいでしょうか。 | 計画地は未電化地域である等の特殊な立地であることから「新築する県有建築物は、原則として ZEB Ready 以上を達成する」の適用外としますが、建築物省エネ法で 2030 年度までに目指すこととされている水準に適合することを目標として下さい。                               |
| 8  | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 工事車両の通行について、「平日は、施工計画書を考慮の上、調整する」と記載あるが、土日祝はどのように考えればよろしいでしょうか。  | 工事車両規制については受注者から提出される施工計画を基に関係機関と協議を行います。土日祝日は多くの来訪者が見込まれるため、工事車両の通行を優先する規制は困難と考えます。  |
| 9  | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 地中埋設物（既存躯体に繋がるスラブ、地中梁など）の有無につきまして、現状を確認できる資料はありますでしょうか。<br>資料が無ければこれまでに既存躯体を撤去した会社へヒアリングができますでしょうか。  | 参加表明者に提供する資料を含めて、提供可能な資料の全てを提供しますが、把握できていない地中埋設物がある可能性はあります。<br>また、既存躯体を撤去した会社は本プロポーザルとは関係ないため参加表明者によるヒアリングはできません。                                      |
| 10 | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 富士公園太郎坊線から売店跡敷地を結ぶ 敷地内の車路の勾配が急ですが、既存のスロープの勾配をそのまま使ってもよろしいでしょうか。  | 施設利用状況を想定し、計画地内において適切な勾配を検討してください。  |
| 11 | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 施工に伴う、資材運搬車が登山道を通行する際、登山道を規制する事を希望しますが、規制することは可能と考えて宜しいでしょうか。  | 平日における富士宮口二合目から五合目までの富士山スカイラインの交通規制は、施設の早期整備のため、施工計画等を踏まえて関係機関と協議の上、決定します。  |
| 12 | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 場内の残土の処理について、国立公園内の土砂なので公園内処分を妥当と考えますが、指定場所等あればご指示ください。<br>又、転用土砂の仮置き場所等についてもご指示ください。  | 原則として、国立公園内での処分はできません。<br>転用土砂の仮置き場は、資料 4 要求水準書 P16（13）総合仮設計画に示すスペースでご検討ください。提示していない駐車スペース等の利用を希望する場合は、土砂の仮置き量や、受注者から提出される施工計画を基に関係機関と協議を行い、使用可否を判断します。 |
| 13 | 資料 4<br>要求水準書 | 7 | 施工中、建設資材を仮置きする指定場所をご指示ください。  | No. 12 と同様にお考え下さい。  |

|    |               |         |   |   |
|----|---------------|---------|---|---|
| 14 | 資料 4<br>要求水準書 | 8       | 富士公園太郎坊線から売店跡敷地を結ぶ敷地内の車路の勾配が急です。バス駐車場と売店跡敷地を接続する車路を新たに計画することは可能でしょうか。   | 計画地を変更することはできません。計画地内にて、ご提案ください。  |
| 15 | 資料 4<br>要求水準書 | 9       | 以前の給水車・給油車の大きさをご教示ください。<br>施設面積構成について、給水車 4t・給油車 4t 程度の利用を想定とあるが、4t 程度が以前に設置されていた大きさと考えてよろしいでしょうか。  | 旧レストハウスでは、給水車 4 t、給油車 2 t 程度を利用していました。なお、熱源については、プロパンガスを使用していたとのことです。                   |
| 16 | 資料 4<br>要求水準書 | 9<br>15 | 9※ 来場者オープンスペース及び、登山用具販売・レンタルスペース等は、仕切りを設けない一体空間としてもよい。<br>15 (イ) 4～5月及び10～11月については、外気温が低いため、管理者用の暖房設備を計画する。対象室は、管理室、登山用品販売・レンタル、救護室とするとあります。<br>新築建物内の来場者オープンスペース及び、登山用具販売・レンタルスペース等は、仕切りを設けない場合の暖房性能はどのように考えればよろしいでしょうか。 | 仕切りを設ける・設けない、具体的な暖房器具や手段については、ご提案にお任せします。<br>仕切りを設けない場合は、光熱費を考慮し適切な場所を暖房できるようご提案ください。   |
| 17 | 資料 4<br>要求水準書 | 10      | 外構計画について、「屋外での高度順応や休憩できるスペースを考慮することが望ましい」と記載がありますが、高度順応できるスペースとはどのような機能を想定されているのでしょうか。  | 休息ができるスペースを指しており、ベンチがあったり、軽い体操をしたりして高度に体を慣らす時間を過ごすスペースを意図しています。                         |
| 18 | 資料 4<br>要求水準書 | 10      | トンパックについては敷地内にある全てを撤去することとありますが、有効利用ができれば大型土のう（トンパック）をすべて、または一部敷地内で再利用することは可能でしょうか。（例えば、新築建物の土間下等）<br>なお、再利用が可能な場合、その条件や留意点等についてもご教示ください。   | 再利用する場合は、大型土のう袋（トンパック）は使用せず、また中身のスコリアについては利用する場所における安全性、環境への影響及び景観に対する配慮等を提案の中にお示しください。 |
| 19 | 資料 4<br>要求水準書 | 11      | (7) バリアフリー計画 イ<br>「施設内の昇降においては、昇降機設備にこだわらず、メンテナンス性を考慮し車いす用階段昇降機設備等の設置で検討すること」とありますが、エレベーターも検討に含むものと考えて宜しいでしょうか。   | エレベーターの検討も含んでよいですが、メンテナンスが可能である設備としてください。   |

|    |               |    |  |   |
|----|---------------|----|--|---|
| 20 | 資料 4<br>要求水準書 | 11 | <p>(7) バリアフリー計画(イ)施設内の昇降においては、昇降機設備にこだわらず、メンテナンス性を考慮し車いす用階段昇降機設備等の設置で検討することとあります。</p> <p>「EV」の場合冬季通行止め期間があるため定期点検が行えず設置は不可となります。</p> <p>「車いす用階段昇降機設備」の場合点検上の問題がありますが、閉山期間中の無通電期間があるため設置環境上、-10℃以下になることが予想されます。その場合故障の原因となりますので設置不可のようです。</p> <p>建物内の昇降においてバリアフリー上どのように考えればよろしいでしょうか。</p> <p>また、敷地内（建物外）の昇降においてバリアフリーをどのように考えればよろしいでしょうか。</p> | <p>車いす用階段昇降設備については、屋内に設置する前提で、数社のヒアリングで、設置可能なことを確認しています。</p> <p>法令に準拠した提案をお願いします。</p>               |
| 21 | 資料 4<br>要求水準書 | 12 | <p>既存躯体を撤去した後に残る「ガラ」の一部を敷地内また新築建物の土間下等で再利用することは可能でしょうか。</p> <p>なお、再利用が可能な場合、その条件や留意点等についてもご教示ください。</p>   | 再利用できません。   |
| 22 | 資料 4<br>要求水準書 | 12 | <p>要求水準書の構造計画 噴石・落石対策の欄に「前面道路の落石防護壁によって落石の直撃は回避できる」と記載があるが、雪崩に対しても同様に考えてよろしいでしょうか。</p>   | <p>山頂側の落石防止擁壁が、標準的な雪崩に対応可能との調査報告はあるが、計画する建物の状況に応じ、雪崩対策を適宜想定してください。</p>                              |
| 23 | 資料 4<br>要求水準書 | 12 | <p>噴石・落石の想定（直径 30 cm、衝突速度 100m/s）について、建物が崩壊しない又は屋根、壁を貫通しないことでよろしいでしょうか。あるいは両方を満たすことでよろしいでしょうか。</p>   | <p>屋内の人命を守ることを求めているため、建物が崩壊せず、噴石等が屋根や壁を貫通しない上で、噴石衝突時における屋内側剥離対策も求めています。</p>                         |
| 24 | 資料 4<br>要求水準書 | 16 | <p>ピーク日の利用客数 2700 人/日について、男女比率と予想平均滞在時間をご教示ください。</p>   | <p>今年度の登山者実績では、男性 7 割：女性 3 割の比率でした。</p> <p>平均滞在時間は、1.5 時間（高度順応 + <math>\alpha</math>）と想定してください。</p> |

|    |                     |    |   |  |
|----|---------------------|----|---|--|
| 25 | 資料 4<br>要求水準書       | 16 | 軽食提供メニューの想定と 1 日の提供食数をご教示ください。  | 軽食メニューの想定について、多数の登山者等が施設を訪れるため、迅速に用意・提供でき、片付け等も極力洗わないで済むような簡便なメニュー（コーヒー等のドリンク含む）を前提に軽食を検討しております。7 月～9 月の登山シーズンにおいての提供食数は、以下を想定しております。なお、軽食の 1 日当たりの提供時間は日中の概ね 8 時間程度を想定しております。<br>想定数：450 食/日（最大）<br>250 食/日（平均） |
| 26 | 資料 5<br>設計業務委託特記仕様書 | 5  | 準拠すべき基準等に記載の「県有建築物コスト削減ガイドライン(静岡県)」、「県有建築物環境・省エネルギー整備基準」について、資料を共有いただくことは可能でしょうか。           | PDF で配布します。  |
| 27 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 計画地の測量図（PDF）<br>当図面に図示はございませんが、今回計画地の東側隣地にあります片流れ屋根でベージュ色の外壁の建物は何でしょうか。※現地視察にて              | 五合目登山口から少し登ったところにある循環型トイレの機械室です。   |
| 28 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 敷地内南西部に構造体と配管（UV-150）がありますが、これは何でしょうか。  | 旧レストハウスで使用されていた、排水設備と思われます。  |
| 29 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 敷地の南東側に既存の階段が記載されていますが、利用を前提とするべきですか。   | 計画地外ですので利用を前提としないでください。  |
| 30 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 富士山で春先に発生するスラッシュ雪崩について、今回の敷地の山頂側に擁壁が確認できますが（google より）、こちらの擁壁がスラッシュ雪崩対策となっていると考えてよろしいでしょうか。 | No. 22 と同様です。  |
| 31 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 進入可能な重機の制約はありますか？   | 計画地に関して重機の制限はありませんので、計画地まで往来可能な重機を選定してください。  |
| 32 | 資料 16-1<br>計画地の測量図  | 1  | 地下水など水の供給源はありますか？（工事でかなりの水を使用します）   | 地下水などの水の供給源は、現時点では見つけられていません。  |
| 33 | 資料 17               | —  | スコリア調査のため、追加のボーリング調査をしてよろしいでしょうか。   | 優先交渉権者となり、基本協定締結及び設計業務委託契約締結後に、業務委託費内で行うことは可能です。   |

|    |       |   |  |   |
|----|-------|---|--|---|
| 34 | 資料 17 | — | 計画位置中央、直下および周辺でのボーリングデータをご提供いただけますでしょうか。   | 参加表明者に対し提供する 資料 17 測量・地質踏査資料 で用意資料以外のデータはございません。                        |
| 35 | 資料 17 | — | ”スコリアに関する情報があれば教えてください。<br>過去の擁壁作成に用いたスコリアの土圧係数や、単位体積重量（比重）など”                                     | 参加表明者に対して配布予定の 資料 17 測量・地質調査資料 でご確認ください。                                |
| 36 | 資料 22 | — | 工事中の背面道路の通行制限はどの程度まで可能でしょうか。（期間・幅員など）  | 期間については No. 11 と同様です。<br>また幅員については参加表明者に対して配布予定の 資料 22 車両規制図（案）程度が可能です。 |
| 37 | 資料 24 | — | 風速の記録について、富士宮5 合目のデータがあればご提供ください。  | 参加表明者に対して配布予定の 資料 24 富士宮口六合目気象データを参考にしてください。                            |
| 38 | 資料 24 | — | 建設地付近の年間の気温に関するデータをご提供ください。  | No, 37 と同様です。   |
| 39 | —     | — | 工事本契約締結後、建設資材価格及び労務単価の著しい上昇がみられ、工事の履行に要する費用が、契約時より増加した場合、建設物価スライド条項・インフレスライド条項の適用をすると、考えて宜しいでしょうか。 | よろしいです。   |